2017 5月号

[´]一般社団法人 日本栄養経営実践協会 (JANMP)

東京都千代田区神田東松下町17 もとみやビル3階

作/株式会社日本医療企画

お問い合わせ先/一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-5289-7021 FAX.03-5289-7022 http://nutrition-management.jp

経腸栄養における下痢・逆流対策とアウトカムを考える

目先のコストではなく、トータルコストの削減をめざす取り組みを!



水野氏、田中氏の発言に熱心に耳を傾ける宮澤代表理事

医師に根拠ある提言を 腸栄養のリスク管理と が (PHGG) による経 次に宮澤靖代表理事 「グァー ガム分解物

絶食のリスクを理解し

続できるようにするこ の2点を挙げた。

の増大につながるた

スクを低減して、

下痢や逆流などの

や受動経腸栄養を継

IJ 性便などの便性状が改 少なくなるため、 善されやすくなる」と 役割として、 説明した。 八腸内の余分な水分が

、水様

可能性を示した。さら

コスト削減ができる

提言していくことが重 治医らに根拠をもっ 用することのメリッ 管理栄養士の 腸管を使

わされることなく、 められている」 が今後の栄養管理に求 演を締めくくった。 る必要性を強調して講 の低減を実現すること 「下痢などの予防に 目先のコストに惑 ルコストを考え -タルコスト

4月12日(水)、ネスレ ヘルスサイエンス カンパニー 臨床栄養セミナー(主催:ネス レ日本株式会社、共催:株式会社日本医療企画)が開催された。

Nutritional Management Expert News

「経口摂取をめざした受動経腸栄養の実践」「グァーガム分解物 (PHGG) による 経腸栄養のリスク管理と管理栄養士の使命」「看護業務のコスト低減をめざした 経腸栄養のリスク管理」の3講演が行われ、宮澤靖代表理事は2講演目に登壇。 いずれの講演も、経腸栄養における下痢・逆流対策を臨床栄養管理と医療経営 の両面から考える内容で、栄養経営士が知っておくべき視点が多く含まれていた。 ぜひ、参考にしていただきたい。

へが多いことを報告。

に入ると酪酸等の短鎖

(看護経営コンサルタ

最後に田中智恵子氏

酸などが生じ、

「PHGGは、

腸内

ントで入院するケ 態の高齢者が急性イ

リハ中止、 する際のポイントとし めざすべきと述べた。 態の底上げを図り、 山摂取のアウトカムを 患者のQOL低下や 文動栄養管理で栄養状 ②合併症が発生する を短縮してリハの時 を増やすこと」 受動栄養管理を実践 できるだけ投与時 ①必要なカロリ 養素を摂取しつ 医療コスト

が叶5・5くらいで、 分やナトリウムの吸収 ギーは大腸における水 境となる。 の短鎖脂肪酸は大腸上 細菌が活動しやすい環 酸性となることで腸内 短鎖脂肪酸によって弱 フィズス菌などの腸内 皮細胞のエネルギー 細菌が棲みやすい環境 になるが、このエネル 利用される。 このHが下がる。 また、腸内 結果、

るため、 よって下痢が低減され ものの、 発表。 厚流動食に変更した場 痢発生によるシミュ 間176万6235円 の か ら P H G G 含 有 濃 トシミュレーションを 流動食を標準組成のお レーションでは、 <u>\</u> 製品価格は上がる 下痢におけるコス 経腸栄養時の が、 トータルで年 PHGGG 逆流、

PHGGが有効である 因から考察した。さら 仕組みと下痢の発生要 題して講演。腸管を使 ながることを、 さまざまなリスクにつ しない長期の絶食は 下痢などの消化器 への対応において その理由につ 腸管の 要であると呼び掛け 奮起を促した。

科部長)

は、

急性期病

彰氏

(目白第二病院

栄養状態の底上げを図る

最初に登壇した水野

受動栄養管理で

管理栄養士の使命」と

患者調査から、

低栄養

院である自院の入院時



実践的内容の講義を熱心に聴講する参加者たち

「栄養経営」とは何か、「栄養経営士」とは何をする資格 なのか

資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を 理解するために受講いただく講習です。宮澤靖代表理事 が講師として教壇に立ち、1日の講義を通して「栄養経 営士」になるための基礎を身に付けていただきます。 本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件 となります。

DVD視聴による受講も可能! ☆3枚組、特典映像付き☆

くわしくは 🔍 栄養経営士

講習内容

オリエンテーション.

「栄養経営士」に必要な能力について

- 1. 院内・施設内における栄養部門の現状分析
- 2. 目標設定能力と達成に向けた実践的アプローチ
- 3. 業務の質を高めるためのアウトカム分析
- 4. 「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
- 5. 適材適所の組織マネジメント
- 6. 病能の把握能力
- ■講 師:宮澤 靖代表理事ほか
- ■受講料(会場、DVDとも): 8,000円(税込)
- 間:10:00~17:00(予定)

日 程 会 場

6 月25日(日)

7 月 1 京: 日(土) 2

月 日(日) 8 5 月 日(土)

8 月 6 日(日)

9 月30日(土) 岡:

【お問い合わせ・資料請求】 一般社団法人日本栄養経営実践協会 TEL03-5289-7021 http://www.nutrition-management.jp

活躍する栄養 経営士たち

なる

チームのメンバーとして成果を積み重ねてきた。 病態栄養認定管理栄養士、日本糖尿病療養指導士などの資格を強みに、経腸栄養プランニングや糖尿病 栄養経営士(第1回資格認定試験合格)をはじめ、NST専門療法士、静脈経腸栄養(TNTD)管理栄養士、 |田美由希さんは2007年3月、愛生会山科病院に入職。2010年4月から栄養科主任を務めている。

やる気を持てる職場にしたい!古い業務体系を見直して 京都市の東、山科地 栄養科で主任を務める

だ。栄養科の変化の裏 き上げてきた功労者 さに現在の栄養科を築 田美由希さんは、ま

時、栄養科の職員はは

病院に入職した当

の中核病院だ。4人の 院は、病床数257床 区にある愛生会山科病

官理栄養士が所属する

ションの中に入って看護師らとカルテをチェック 田さんと上司の2人の のような状況が続く栄 養指導を担っていた。こ で病棟の栄養管理や栄 議の出席や献立作成を 続いていた。上司は会 れ替わるような状況が く、1~2年で人がる い、仁田さんが1人 人員の定着率は低

同院に入職して10年。栄養部門の業務改善と組織改革に取り組んできた仁田さんの活動を追う。 には、仁田さんが持つ 人と人をつなぐ力」が 仁田さんが愛生会山

さんは、 理業務を行うことに限 界を感じていました」 いくことになった仁田 制で栄養科を運営して 新しい管理栄養士が1 同院を去り、代わりに 入職した。新たな体 ほどなくして上司も 「やる気を持っ

トに、当初から疑問を 感じていたという。 だけになってしまって、 私自身、業務をこなす 人ですべての栄養管

との思いで、栄養科の業 **働ける職場にしたい**

との表れでもありま

なりました」と仁田さ

養科の業務マネジメン

院内での認知度アップを図る外来診察に立ち会うことで

ので、 という実績の少なさ が月10件にも満たない けも必要だった。そのた ばならなかった。 を、どうにかしなけれ めには、栄養指導件数 した他職種への働きか せっかく2人で栄養 医師をはじめと

らなければ意味があり 必要性が低いというこ なさは、管理栄養士の ません。依頼件数の少 ても、依頼件数が変わ 指導をできる体制にし の反応は肯定的で の重要性を訴えた。 現状を話し、栄養指 指導を実施するまでに ていきました。現在は 徐々に依頼件数は増え 管理者会議で栄養科の 長が出席する月1回の 院内の全医師と各部門 意外にも先生方から 100件近くの栄養

てもらうことから始め

二田 美由希さん 栄養経営士 ·般社団法人愛生会 愛生会山科病院 栄養科主任



容の見直しだ。献立作

に計らった。当時、

託給食会社との契約内

最初に行ったのが、委

成も含めた全面委託へ

し変更することで、

薬剤師の樋口眞宏さんとは長年協働してきた間柄で、お互いの信頼も厚い

真の周術期チーム医療が学べる! 術後回復促進策についてわかりやすくまとめたテキスト

を促進

さんに DREAM を提供できる周術期管理チ ムをめざし 手術の後に、早期に飲み始めることができる(<u>Dr</u>inking)、食べ始めることができる (Eating)、動き始めることができる(Mobilizing)ための工夫を医療行為の中で行うこと で、術後回復が促進される(DREAM の達成)ことが明らかにされています。 本書は、これらの術後回復促進策についてわかりやすくまとめたテキストです。

多職種にわたる執筆陣の解説により、真の周術期チーム医療を学ぶことができます。

くわしくは 周術期実践マニュアル



【主な内容】

いました

そこで仁田さんは

なければならないと思

笙1音

術後回復促進策について知り尽くそう

筆2章

ームが行う術後回復促進策

第3章

術中チームが行う術後回復促進策

第4章

術後チームが行う術後回復促進策

おわりに

術後回復促進策のすばらしさ

私のかいふく日記



■編著者:谷口英喜

(済生会横浜市東部病院周術期支援センター長)

型:B5判/270頁

■価 格:2,800円+税 人で患者を待っている

外来診察に同席

さんにとってもよいこ 動せずにすむのは患者

め C

医薬品の経腸栄養

くだと思います」

(養指導室に座り1

いう形が生まれました

士が常時立ち会うと

か?』と話して指導に

つながることがありま

栄養指導室に移

る。さらに、同院はDP いう点でも優れて 維や微量元素の含有と が可能であり、食物繊

対象病院である

することのメリットは

ともあり、

糖尿病内科

の外来の時間に管理栄

養 ŧ

指導

を

受けます

を訴えてくださったこ

指導の予約がない方で

、医師がその場で『栄

初めての診察で栄養

栄養指導の重要性

任された神内謙至先生

けているという。

光養指導の依頼も受

倒

ほかの診療科から

3年に当院で初めての 界があります。201 待っているだけでは限

> ち会いを行うが、同時 外来時間に合わせて立

糖尿病専門医として赴



を教え続けている。

他職種

「然の姿勢であること

(D)

樋口 真宏氏

愛生会山科病院 薬剤部主任

薬剤師は患者の病態や全身状態、

検査値、栄養摂取量などの情報をも

とに輸液メニューを考えるのですが、

その際に管理栄養士との情報共有や相談は必須になります。仁田さんは

薬剤師よりも先にカルテをチェックし

たり、アセスメントされるような方です。

お互いに意見を言い合えるよい関係

ですが、私が仁田さんから学ぶほうが

多いですね。仁田さんのやり方を見て、

「輸液管理で重要なイン・アウトを確

認するにはアセスメントでここを見るん

だな」というのを教わったり。仁田さん

を見て自分も頑張らなければといつも

思っています。

上田さんが管理栄養 と強い

いていけたのは、他職

に働きかける行動力

いるのが、

糖尿病チー

上としての道を切り拓

う。そうした仁田さん

の持ち味が活かされて

トワークと自己研鑽の姿勢で 信頼関係を築く を持っているからだろ

神内 謙至氏

愛生会山科病院 糖尿病内科

糖尿病を治療するうえで食事療法

は非常に重要です。その食事療法に おいて仁田さんが必要不可欠な存在

になっています。「適切な食事はこれです」と指導するだけでは患者さんの

実際の行動には結びつきにくいもので

す。病態を踏まえたうえで、その患者さ

んの食生活に合った実行可能な食事 療法は何かを私と話し合いながら、-

人ひとりの食事療法を決定していくとい

う緻密な作業を、仁田さんはむしろ楽し

んでやってくれています。糖尿病患者

数が増加傾向にある現在、当院での

糖尿病臨床における仁田さんのさらな

る活躍を期待しています。

病棟を歩いていると「仁田さん!」と声をかけられて、そのまま立ち話で相談が始まることもしばしば いが、 を出す医師に、 経腸栄養剤のオー 剤であれば入院時食事 るため、病院経営にも 療養費として算定でき 他職種と ノラスになる。 そこで仁田さんは、 食品の経腸栄養 、食品の ター

栄養指導が行えるう や看護師と情報を共有 はるかに大きい。 もつながるからだ。 たほうがスムーズな 臨床知識の向上に 医師 ついても、 栄養科の役割にオーダー前に経 病棟での栄養管理に 言時とはそのあり方 仁田さんの入 経腸栄養プランを提 責任を持つ

の診察に同席して栄養

指導を行うという仕組

医師からの依頼を

現在、

糖尿病内科の

は

管理栄養士が外来

背景には、

、もう1つ、

きな要因がある。それ

類が豊富で細かな調整 扱いの経腸栄養剤は種 栄養剤に比べて、食品 が大きく変化して 経腸栄養剤の使用が圧 的に多かった。しか 以前は医薬品扱いの 医薬品扱いの経腸 力を1、 さらに、 も努めた。こうした努 ランを提示することに 手を打って経腸栄養プ 経腸栄養剤のメリッ グを見計らって、医師の になりそうなタイミン を説明し、 患者が経腸栄養開始 ていったのだという。 ーダーが入る前に先 事前の情報か 医師を説

うことだ。仁田さんは ランに責任を持ち、そ ても、 けでなく、 れるということは、 ないようにすることが の後の経過観察を怠ら その責任を自覚するだ れだけ責任も増すとい がプランニングを任さ が定着していった。 もっとも、管理栄養士 自分の立てたプ 部下に対し そ

事療養費を算定できな

なり、その間、

入院時食

剤を使用すると絶食と

ランを立てるという形 が最初の経腸栄養のプ 基本的に栄養科 2年続けるう うのではないかという 集団指導を行っていた 技師らからも協力を得 理学療法士、 めた。その後、 長に声をかけ協力を求 れている病棟の看護師 は いかと考えた仁田さん 指導を受けたいという のが始まりだった。週1 不安があったという。ま 続けているだけでは、 回の指導だが、2人で ーーズがあるのではな ハで糖尿病教育入院の ずれ限界がきてしま 医師とに 、患者側にも、 自然と現在の糖尿 教育入院を受け入 ムはもともと、 上田さんの2 臨床検査 、薬剤師、 、幅広い 神

ムの形が出来上

くう。 こ かし、 果たすべく研鑽を続け ネジメントの視点を活 が課題になっていると 経営士として学んだマ 話す仁田さんは、栄養 ない人員での人材育成 していきたいですね」と し働き方の方向性を示 現在、栄養科では少 管理者の役割を 「部下にしっかり

がった。 自ら問

示

1

0

活動だ。

糖

尿

てきた。 け、躊躇なく周りに協 専門家として自己研鑽 を続ける姿勢が、 力を求められる行 種との信頼関係を築い などの資格取得に積極 に取り組み、栄養の そして、栄養経営十 題点を見つ 他

ラン特別セミ

経口摂取の実現に向けて地域で輝く

在宅を見据えた経口摂取への積極的な取り組みが求められるなかで、栄養管理のプロである管理栄養士に必要となるスキルと知識は何なのでしょうか? 摂食嚥下リハビリテーションの最前線で活躍する医療者らにご講演いただきます。

福岡会場

テーマ:経口摂取とリハ栄養 開催日:8月20日(日)

師:吉田 貞夫先生(沖縄メディカル病院)

中村 育子先生(福岡クリニック在宅部栄養課課長)

札幌会場

-マ:嚥下機能評価と栄養指導の実践

開催日:9月23日(土)

師:真井 睦子先生(栗山赤十字病院) 藤本 篤士先生(札幌西丸山病院歯科) 中村 育子先生(福岡クリニック在宅部栄養課課長)

盛岡会場

マ:在宅訪問栄養食事指導で経口摂取をサポート(仮)

開催日: 11月23日(祝)

師:中村 育子先生(福岡クリニック在宅部栄養課課長) **塩野崎 淳子**先生

(むらか日帰り外科手術・WOCクリニック・訪問管理栄養士)

※開催日や講師、内容等はすべて予定です。都合により変更する場合がありますのでご了承ください。詳細は決まり次第、日本医療企画ホームページなどで告知いたします。

【お問い合わせ】 株式会社日本医療企画 TEL03-3256-2885

NSTを学びたい!

993年、「本場の

要性

特別連載

て2年後、

ります。

。渡米し

貴重な経験があ

メリカで学んだ

もう1つ、

宮澤靖代表理事が歩んできた道(下)

休みたい一心で輸液処 労が極限状態となり、 方をすべてノーチェン 器移植外科に飛び込み 学医学部附属病院の臓 米国・エモリー大 う熱い想いを抱 ジにするという あるとき、

なる数字としてとら

ノーチェン

血液検査値の推移を単

修を行うことができま 属病院で、 師匠の言葉に救われ、 たが、「もう一度、1 11 帰国しなければならな からやり直せ」という エモリー これが原因で、 、状況にまで陥りまし 大学医学部附 2年半の研 一時は

大失態を犯しました。 さんの命をお預かり 理をすることは、患者 けでなく、患者さんの 心を診なさい。栄養管 こに誇りを持ちなさい。 ているということ。 医療従事者は病気だ

でいます を肝に銘じて取り組 さんの心を診る」こと 聴することができな 患者さんの苦しみを傾 たのですね。 「患者 以

日のように言っていた

これは私の師匠が毎

言葉です。

患者さんの

字の推移の背景にある いなかったのです。 クをした私は、そのこ ジで輸液処方の しがまったくわかって チェ 数

命をかける 宮澤靖代表理事の歩みを、ご自身のお話から振り返ります。本コーナーでは3回にわたり、栄養経営の道を切り拓いてきた 救命救急外来で学んだ命に向き合う姿勢 て栄養サポ 衣 を せ 毎日重ねていくうち そんな経験を j

身熱傷で黒こげ状態で の姿を毎日のように目 重症患者さんが毎日何 運ばれてくる方など、 たお子さんを前にし 日本では考えられない 人も搬送されてくるの 交通事故で亡くなっ 泣き崩れるご家族 になり、 さんに対し、こちらも 논 なければならない で患者さんにかかわる に 命をかけてサポート て病と戦っている患者 ことは罪だ。 深く心に誓うよう 「中途半端な姿勢 現在に至って 命をかけ

います。 ベッドに仰臥されてい るご高齢の方々は、 皆さんのご施設

のは難しい金額でし れだけで生活していく

にしました。

心肺蘇生

に専念している救命

た。そのため、

、師匠が

ムの横で、

ある重

アルバイトを紹介して 病院で最も時給の高い

守っていたとき、

血ま

正患者さんの様子を見

みれの手で白衣をつか

なったのですが、

当然

給料をいただく身分と

して採用されました。

病院の正職員と

です。

ながら薄給であり、そ

ら今の素晴らしい日本 方々の栄養管理におい 後の焼け野原のなかか という国を創ってくだ

手を抜くようなこ

まみれになった方、

銃で撃たれて血

と言われたこともあり

「助けて……」

さった方々です。

みやざわ・やすし●長野県出身。アメリカ静脈・経腸栄養学会 認定栄養サポート栄養士(NSD)、日本静脈経腸栄養学会(J SPEN)認定NST専門栄養療法士。米国エモリー大学医学 部にてNSTを学ぶ。日本では長野市民病院NSTディレクター、鈴鹿中央病院NSTエグゼクティブディレクターを経て現 職。日本静脈経腸栄養学会(評議員)、アメリカ静脈経腸栄 養学会、アジア静脈経腸栄養学会(国際評議員)、日本機能 性食品医用学会(評議員)、日本メディカルダイエティシャン研究会(会長)、クリニカルダイエティシャン研究会(代表幹事)、 日本病態栄養学会(評議員)、日本栄養改善学会(評議員)

ければならないと強く で皆様を支えていかな さった方々に対し、 本を創ってきてくだ とがあってはなりませ たちも命をかけて栄養 h 命をかけてこの日 完 私

日本栄養経営実践協会 支部情報揭示板

九州支部

管理栄養士のための基礎医学講座 ~臨床検査Ver~

毎回、ご好評いただいている「基礎医学講座」(主催:株式会社日本医療企 画)の第4弾開催が決定しました。

医療職にとって不可欠な基礎医学の知識ですが、管理栄養十の皆さまは これまで十分に学ぶ機会がなく、「カンファレンスで話についていけない」「一 から勉強し直したいけれど、どこから手をつけてよいのかわからない」-う悩みを持つ方も多いのではないでしょうか。

本講座は、基礎医学について知りたいと考える管理栄養士の方におすす めです。

三浦公志郎氏(九州女子大学家政学部栄養学科教授、医師)を講師に 迎え、医師の立場から「管理栄養士に、これだけは知っておいてほしい」とい うポイントや、管理栄養士が間違えやすい点、陥りやすいミスなどについて、 詳しく講義していただきます。

- 〇日時:7月15日(土)10:30~16:30
- ○プログラム(予定)

臨床検査(数値データ・画像データ)を読む基礎知識

血液検査、血液の組成や異常について

臨床検査医学についての医学的知識と栄養管理 ほか

- ○講師:三浦公志郎氏(九州女子大学家政学部栄養学科教授、医師)
- ○会場:事務機ビル3階(福岡県福岡市博多区博多駅南1-2-15)
- ○受講料(税込):栄養経営士および基礎講習修了者7,000円/一般8,000円
- ○お問い合わせ:日本医療企画九州支社 TEL092-418-2828(担当:永田)
- ○主催:株式会社日本医療企画九州支社 ○後援:日本栄養経営実践協会九州支部

関東支部

ームマネジメント力向上研究会(全3回)

2017年度の関東支部研究会が、いよいよ6月からスタートします。講義と グループワークを組み合わせたスタイルで、栄養科のチームマネジメント力と 実践力の向上を目指します。

- ○内容と日時
 - 現時点の自分の業務内容の洗い出し 第1回
 - 6月22日(木)19:30~21:00
 - 第2回 洗い出した業務内容について選択と集中の実践
 - 7月20日(木)19:30~21:00
 - 第3回 組織の動かし方
 - 8月24日(木)19:30~21:00
 - *各回とも、講義40分、グループワーク30~40分(発表含む)、講評・ まとめおよび質疑応答10分を予定
- ○講師:阿部克幸氏(前橋赤十字病院医療技術部栄養課栄養課長)
- ○会場:日本医療企画もとみやセミナールーム
 - (東京都千代田区神田東松下町17もとみやビル3階)
- ○受講料(全3回分、税込):会員3,000円/一般8,000円
- ○お問い合わせ:日本栄養経営実践協会関東支部

TEL03-3256-2885(担当:子安)

支部研究会 参加者の声

支部研究会は情報交換の場!

嶺 孝雄さん(医療法人社団愛宝会浜田山病院栄養科)

関東支部研究会の大きな特徴は、講義を聴いた後、参加者同士でディスカッショ ンをする時間があることだと思います。講義内容の理解が深まるのはもちろんで すが、日頃の業務に関する情報交換ができるのが非常にありがたいと感じています。ディスカッションには講師の先生も参加していただけるので、個別に相談で きるのも大きなメリットです。私自身、自分をどうマネジメントするか、という視点を 持つことができるようになりました!